

◆「塗り替え」現場ドキュメント◆

「塗り替え」の作業はこのように進行します。

お客様の側でも「塗り替え」の作業工程をおおむね理解していただくことが、スムーズな進行につながります。

1

足場架設・養生

足場を組んで安全な現場を作り、飛散防止ネットで養生します。



Q. 養生って何ですか？

A. 塗料が飛び散らないようにシートを被せることです。植木や車、門扉などにも細心の注意を払います。

2

水洗・下地補修 / 調整

洗浄機使用などで、ホコリ、汚れ、藻、コケ、カビ等を洗い流し清浄な面にします。外壁の不具合箇所を適切な工具を用いてケレン除去したあとシーリング処理します。欠損箇所は修製材を用いて補修します。



Q. 下地補修では何をしますか？

A. 汚れをキレイに洗い流した後に、ひび割れを埋めたりして表面を美しく整えます。この作業の出来が、後の仕上がりにおおいに影響します。

3

外壁塗装

外壁を下塗り、中塗り、上塗りの順で塗装します。



Q. イヤなおいひしませんか？

A. 水性塗料を使用の場合はシンナー等を用いませので、イヤなおいひ無く取扱いも安全で人と環境に優しいです。

4

屋根塗装

風雨・紫外線対策として、充分な下地調整をした後、特に耐候性に優れた塗料で塗装します。



Q. 屋根の塗料は違うのですか？

A. 最も過酷な自然条件にさらされる箇所ですから、上塗りには特に耐候性の優れた塗料を使用します。

5

鉄部、木部塗装

破風板、軒天をケレン、清掃後下塗りします。その後、破風板、軒天、スチール箇所の仕上げ塗装をします。



Q. 鉄部や木部では何に注意しますか？

A. ベランダの手すり等の鉄部は、旧塗膜のはがれ、さびへの対応をします。また、木部は割れや腐食の防止に重点を置きます。

6

足場解体

周囲の安全に留意し足場、飛散防止ネットの撤去作業をおこないます。



Q. 雨の日も作業しますか？

A. 申し訳ありません。雨の日の作業は、お休みです。従って天候によっては作業日程に変更が出る場合もあります。

7

点検・引き渡し

塗装面をチェックし、必要があれば手直して、塗装作業を終了し、周辺を清掃します。



Q. 後片づけもしてもらえるのですか？

A. もちろんです。撤去作業の後、周辺の清掃をおこない、ゴミも施工店が持ち帰ります。

◆ 作業工程は、現場状況や建物の形状により変わる場合があります。